

立命館大学父母教育後援会 2016 年度総会 議案

日時 2016 年 5 月 14 日(土)16:45～17:20

場所 衣笠キャンパス

創思館・カンファレンスルーム

議題

1. 2016 年度 委員・役員の選出について
2. 2015 年度 事業および決算報告について
3. 2016 年度 事業計画および予算案について

目 次

1.	2016 年度委員・役員の選出について	1
	2016 年度委員一覧	2
	2016 年度大学選出役員	3
2.	2015 年度事業および決算報告について	4
	2015 年度収支計算書	8
	2015 年度貸借対照表	9
	監査報告書	11
	会計監査結果報告	12
3.	2016 年度事業計画および予算案について	14
	2016 年度予算(案)	18
巻末	立命館大学父母教育後援会会則	19
	立命館大学父母教育後援会卒業生父母の会会則	20

1. 2016 年度 委員・役員の選出について

(1) 名誉会長

2016 年度立命館大学父母教育後援会名誉会長は、吉田美喜夫立命館大学長がこれをつとめる(立命館大学父母教育後援会会則第 7 条 2 項)。

(2) 会長、副会長、監事、委員、常任委員選出

2016 年度総会は、会長、副会長、監事及び委員を選出し(会則第 8 条 1 号)、委員の中から常任委員を選出する(会則第 8 条 3 号)。

慣例により常任委員は和歌山県を除く近畿地域在住の委員がこれをつとめる。

2015 年度第 7 回常任委員会は、2016 年度総会へ、別紙のとおり同役員案を提出する。

(3) 大学選出副会長

2016 年度大学選出副会長は、市川正人立命館大学副学長、松原豊彦立命館大学副学長がこれをつとめる。

会則は「副会長のうち 2 名は副学長及び専務理事をもってあてる」(会則第 8 条 2 号)と定めるが、学園における役員の異動を考慮し、2003 年度第 3 回常任委員会において、副学長 2 名を副会長にあてることとし、これを継承する。

(4) 幹事長、幹事、顧問

2016 年度幹事長及び幹事は、特別会員(大学に勤務する教職員)の中から会長が委嘱する(会則第 8 条 4 号)。

2016 年度顧問は、大学関係者の中から常任委員会の議を経て会長が委嘱する(会則第 8 条 6 号)。2015 年度第 7 回常任委員会は、会長へ議案 1 のとおり顧問案を提出する。

* 役員の任期

・父母委員は、当年度総会から次年度総会まで 1 年間の任期をつとめる(再任を妨げない)(会則第 10 条)。卒業等によって学部学生の父母でなくなった場合は会員でなくなり(会則第 3 条 1 号)委員の任期も終了する(ただし卒業等の事由が生じた場合でも、会長は翌年の総会まで、監事は会務・会計監査を終えるまで任期を継続する(慣例による))。

・大学選出役員は大学学年暦どおり 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日まで 1 年間の任期をつとめる(学園役職の異動に準じて着・退任する(慣例による))。

以上

＜2016年度 委員一覧＞

役職	都道府県	新任	委員氏名	学部	役職	都道府県	新任	委員氏名	学部
会長	京都府		大垣 守弘	理工	委員	石川県	○	鍋田 かおり	国関
副会長	京都府		竹内 福代	文		石川県	○	喜多 久美子	経営
監事	京都府		樽谷 珠代	法		福井県	○	松田 里世子	文
	兵庫県		足立 敏	産社		福井県		西村 理恵	文
常任委員	京都府		山本 佳奈枝	経営		岐阜県		原 仁美	経済
	滋賀県		石田 めぐみ	文		岐阜県		古市 直美	国関
	滋賀県		山田 洋子	経営		静岡県	○	内山 三八子	情理
	大阪府	○	井上 利一	国関		静岡県		植松 吉彦	法
	大阪府	○	柳田 律子	政策		愛知県		西川 友樹	法
	兵庫県		片田 由美	経済		愛知県	○	時實 育代	法
	奈良県	○	柴田 順夫	政策		三重県	○	米倉 智佳子	文
	奈良県		辻岡 敦子	情理		三重県		山本 真実	法
委員	北海道	○	村上 雅子	理工		和歌山県		杉村 泰久	理工
	北海道		弓野 真祐美	経済		和歌山県	○	夷 知香	理工
	青森県		福土 雅巳	法		鳥取県		西古 美奈子	産社
	青森県	○	成田 大輔	文		鳥取県		竹内 俊一	産社
	岩手県		宮澤 範子	薬		島根県	○	田中 修	経営
	岩手県		福土 進	スポ		島根県		園山 裕二	経済
	秋田県		高橋 あゆみ	文		岡山県		山脇 弘子	国関
	秋田県		仙道 武	文		岡山県		内藤 富貴子	国関
	山形県		今野 正	文		広島県	○	藤木 公子	産社
	山形県	○	後藤 義昭	法		広島県	○	渡邊 紀子	情理
	宮城県		亀井 さなえ	国関		山口県	○	片野 秀男	経営
	宮城県	○	岡田 朗子	理工		山口県	○	横山 修司	産社
	福島県	○	浅田 礼子	文		香川県		安西 佳保里	経営
	福島県	○	山口 孝之	文		香川県	○	杉村 隆	政策
	茨城県	○	山本 洋祐	情理		徳島県		沖津 貴司	法
	茨城県	○	矢口 裕美	国関		徳島県	○	富山 由紀	映像
	千葉県	○	多筈 千枝	理工		高知県	○	岡林 康雄	薬
	千葉県	○	香本 眞理	国関		高知県		小野 直治	文
	埼玉県		中山 まなみ	スポ		愛媛県	○	門田 美由起	産社
	埼玉県	○	大山 重憲	文		愛媛県	○	黒田 秀美	経済
	東京都		森田 恭世	スポ		福岡県	○	森本 由起子	産社
	東京都		廣瀬 俊之	政策		福岡県		田中 克樹	産社
	神奈川県		小原 愛	国関		佐賀県	○	増岡 一宏	政策
	神奈川県		山口 悦子	産社		佐賀県		中島 靖憲	政策
	山梨県	○	清水 義富	経済		長崎県		今井 美佳	経営
	山梨県		仲田 勉	産社		長崎県		椿崎 仙市	理工
	栃木県	○	熊谷 美加子	文		熊本県		西本 善春	産社
	栃木県	○	伊原 和実	文		熊本県	○	松田 洋典	文
	群馬県		田中 美香	国関		大分県		江藤 裕子	映像
	群馬県		本田 公子	産社		大分県		山本 恵子	経済
	長野県	○	山口 篤文	スポ		宮崎県		川崎 辰巳	文
	長野県	○	西村 美保	産社		宮崎県	○	川内 秀三	情理
	新潟県		小林 功	産社		鹿児島県		村山 さゆり	法
	新潟県		齋藤 義樹	文		鹿児島県		宮本 利香	法
	富山県	○	松井 律子	理工	沖縄県		伊良部 重光	法	
	富山県	○	山口 剛	文	沖縄県		天願 こずえ	文	

※敬称略

96名（うち○印42名は新任）

＜2016年度大学選出役員＞

役 職	学 園 役 職	新任	氏 名
名誉会長	総長		吉田 美喜夫
副会長	副総長		市川 正人
	副総長		松原 豊彦
顧 問	理事長		長田 豊臣
	専務理事		森島 朋三
	法学部長		宮井 雅明
	経済学部長		松本 朗
	経営学部長		池田 伸
	産業社会学部長		有賀 郁敏
	国際関係学部長	○	君島 東彦
	政策科学部長		重森 臣広
	文学部長		藤巻 正己
	映像学部長		品田 隆
	総合心理学部長	○	佐藤 隆夫
	理工学部長		笠原 健一
	情報理工学部長		仲谷 善雄
	生命科学部長	○	小島 一男
	薬学部長		今村 信孝
	スポーツ健康科学部長	○	伊坂 忠夫
幹事長	教学部長	○	徳川 信治
幹 事	教学部副部長	○	佐藤 典司
	学生部副部長	○	漆原 良
	キャリアセンター副部長		伊津野 和行
	図書館副館長		高山 茂
	国際部副部長		神子 直之
	教学部次長(衣笠担当)		石坂 和幸
	教学部次長(BKC担当)		菊池 ゆかり
	教学部次長(OIC担当)		東 美江
	学生部次長		浅野 昭人
	キャリアセンター次長		松原 修
	学術情報部次長		近藤 茂生
	国際部事務部長		大島 英穂
	社会連携部次長		廣井 徹

計33名

2. 2015 年度事業報告および決算案について

以下 4 点を基本的な考え方として、各事業を実施した。

- ① 懇談会事業は、学生の学びや生活の様子を会員に伝え、会員相互の親睦を図れる企画を検討し、その充実を図る。
- ② 学生支援事業は、学生が平等かつ公平に支援が受けられる事業に支援する。
- ③ 広報・通信事業は、大学の取組みや学生生活の様子を会報やホームページで発信し、その充実を図る。
- ④ その他事業は、基本的に前年度事業を踏襲し、必要に応じて取組みをおこなっていく。

1. 懇談会事業

以下の通り、懇談会事業を実施した。

懇談会名称	概要
<p>総会・委員懇談会 〔対象：都道府県委員〕</p>	<p>総会では、2015 年度役員選出、2014 年度事業・決算報告、2015 年度事業計画・予算案、そして「卒業生父母の会の設立」と「会員家計急変奨学金制度の見直し」が提起され、承認された。</p> <p>委員懇談会では、2015 年度事業に関わる意見交換や都道府県委員同士の交流を目的に、グループ別懇談会を実施した。</p> <p>＊2015 年 5 月 16 日(土) 大阪いばらきキャンパスで開催 都道府県委員 92 名、大学選出役員 21 名が出席</p>
<p>春のオープンカレッジ 〔対象：全会員〕</p>	<p>衣笠、びわこ・くさつ、そして 2015 年度に開設された大阪いばらきキャンパスも含めた 3 キャンパスで実施した。午前は学生生活、就職、海外留学、資格講座、教職、大学院進学についての説明会、午後は学部別懇談会を実施し、一日を通じて学生スタッフによるキャンパスツアーも実施。参加者数は 2014 年度から 631 名増加した。</p> <p>＊2015 年 6 月 13 日(土) 衣笠、びわこ・くさつ、大阪いばらきキャンパスで開催 衣笠:979 名、BKC:1,164 名、OIC:845 名 <計 2,988 名>が参加 ＊2014 年度は衣笠:1,046 名、BKC:1,311 名 <計 2,357 名>が参加</p>
<p>都道府県父母教育懇談会 〔対象：全会員〕</p>	<p>全国 42 会場へ大学教職員が赴き、大学での学びについて学生の体験談も交えながら説明会を実施。グループ別懇談会も行い、具体的な疑問点などを解決し、参加者同士の交流の場を設けた。</p> <p>＊2015 年 5 月 30 日(土)～7 月 12 日(日) 期間中の土・日曜日に開催 2,106 名が参加 (2014 年度は 2,461 名参加)</p>
<p>委員懇談会 〔対象：都道府県委員〕</p>	<p>2015 年度事業の進捗報告と、参加者が減少している都道府県懇談会のあり方について意見交換した。</p> <p>＊2015 年 11 月 14 日(土) 衣笠キャンパスで開催 都道府県委員 85 名、大学選出役員 13 名が出席</p>
<p>秋のオープンカレッジ 〔対象：全会員〕</p>	<p>学生生活の様子が感じられる学園祭に会員を招待した。2016 年度は大阪いばらきキャンパスの開設に伴い 3 キャンパスで 1 日ずつ開催したが来場者数は昨年度より増加した。</p> <p>＊2015 年 11 月 1 日(日) 衣笠キャンパス 2015 年 11 月 7 日(土) 大阪いばらきキャンパス 2015 年 11 月 15 日(日) びわこ・くさつキャンパス ＊衣笠:923 組、BKC:668 組、OIC:617 組 <計 2,208 組>が参加 ＊2014 年度は各キャンパスで 2 日間実施し、衣笠:988 組、BKC905 組 <計 1,893 組>が参加。</p>
<p>アカデミック講演会 〔対象：全会員〕</p>	<p>保護者の方に、立命館大学の教育・研究に触れていただける機会として、教員などによる講演会を開催した。</p> <p>＊2015 年 6 月 7 日(日) 熊本県(都道府県父母教育後援会 会場)</p>

	<p>テーマ:マレーシアにおける遺産観光の現状と課題 ～マラッカ・ジョージタウンを事例として～</p> <p>講師:文学部長 藤巻 正己 教授 参加者:70名</p> <p>*2015年7月12日(日) 静岡県(都道府県父母教育後援会 会場)</p> <p>テーマ:脳卒中リハビリテーションのためのロボット開発</p> <p>講師:理工学部長 永井 清 教授 参加者:128名</p> <p>*2015年10月11日(日) 大阪いばらきキャンパス</p> <p>オール立命館校友大会 2015 IN OIC と共催し、パネルディスカッションを実施</p> <p>テーマ:Creating a Future Beyond Borders 未来に生き続ける立命館 Spirit</p> <p>講師:コーディネーター 河田 直也 氏(株毎日放送アナウンサー)</p> <p>パネリスト 坂本 和一氏(立命館大学名誉教授、立命館アジア太平洋大学初代学長)</p> <p>建山 和由氏(学校法人立命館常務理事、理工学部教授)</p> <p>平野 桃子氏(大船渡市)</p> <p>田中 美帆氏(株ボーダレス・ジャパン)</p> <p>参加者:160名</p>
アカデミックウォッチング 〔対象:全会員〕	<p>教員や学生による解説・引率で京都の名所を巡る企画を8コース開催した。</p> <p>*2015年11月8日(日)に開催、229名が参加</p>

2. 学生教育支援事業

学生教育支援事業は、学生が平等かつ公平に支援が受けられる事業に支援した。

(1) 正課等教育支援

支援事業	実施内容
新入生教育支援事業	初年次の小集団科目において、グループ学習などクラス単位での活動が活性化することを目指し、フィールドワークにかかわる経費や、講師招聘に対する補助をおこなった。
在学学生教育支援事業	<p>学生に国内外の学術・文化・芸術の資産に触れもらうため、国立美術館、国立博物館(下記8施設)に学生が無料で入館できるキャンパスメンバーズへの加盟に対して支援した。</p> <p>東京国立近代美術館、京都国立近代美術館、国立西洋美術館(東京都)</p> <p>国立国際美術館(大阪市)、国立新美術館(東京都)、京都国立博物館</p> <p>奈良国立博物館、国立民族学博物館(吹田市)</p> <p>年に2回保証人宛に送付している成績通知表の送付経費の一部を補助した。</p>
表彰制度支援事業	主として正課にかかわる分野において、優れた成果をおさめた学生の取組みに対し、772名を表彰した。

(2) 課外活動支援

支援事業	実施内容
文化・スポーツ活動応援事業	スポーツ・文化芸術活動を活性化するために、学生が互いに応援し、励ましあう応援文化を醸成するよう、応援グッズ作成や学園祭企画への補助を行った。

(3) 進路就職支援

支援事業	実施内容
就職活動支援事業	U・Iターン就職支援を目的としたキャリアフォーラムの開催、ガイドブックの制作、SPI等模擬試験や試験対策講座への受験料補助、模擬面接などの面接対策への支援、本学オリジナル履歴書の制作とその無償配布(就職活動生対象)、スチューデント・ネットワークによる

	支援企画の実施、「親子で考えるキャリア講座」刊行とその WEB 配信を行った。
資格試験等 図書支援事業	進路・就職関係および資格取得支援資料(企業や業界研究、就職活動の変化に対応するための最新資料、学生のニーズに応じた資格取得のためのテキストや問題集など)の購入、また読む力を育成し、幅広い教養を身につける資料を購入した。

(4)国際交流支援

支援事業	実施内容
留学生支援事業	保護者またはそれに準ずるものが父母教育後援会会員である外国人留学生の国民健康保険料に対して補助を行った。

(5)奨学金支援

支援事業	実施内容
家計急変奨学金	2015 年度より、会員が死亡・重度障害に陥った場合は卒業までの学費を、失業・倒産の場合も年間学費を支給するという、全国的にも例のない奨学金制度の拡充を行った。新制度により、64 名の学生に対し卒業までの学費を、52 名の学生に対し年間学費の給付を行った。
災害支援奨学金	災害により人的、経済的被害を受け、修学の継続が困難となった学生を支援するため、2015 年度新たに災害支援奨学金制度を設立した。(2015/11/14 常任委員会) この奨学金は、会員が災害で、①30 日以上の治療を要する人的被害を受けた場合、②居住家屋の全壊、全焼、半壊、半焼、床上浸水の被害を受けた場合、年間学費を支給し、修学の継続を支援するもので、父母教育後援会が大規模災害への備えとして積み立てている「災害時基金積立金」を予算として活用する。
留学生支援奨学金	保護者またはそれに準ずるものが父母教育後援会会員である外国人留学生に学修の奨励を目的とした援助を行った。

(6)その他

支援事業	実施内容
100 円朝食	2015 年度も活発に利用され、1 日平均 1,000 人、年間 16 万人の学生が利用した。 また、大学生協、サブウェイに加え、新たに JA おうみ富士とも提携し、地産地消への取り組みも進めた。 これらの取り組みが評価され、厚生労働省が主催するスマートライフプロジェクトで厚生労働大臣最優秀賞を受賞するなど、社会的な評価も高まった。

3. 広報・通信事業

(1)父母教育後援会だより(会報誌)の発刊

「父母教育後援会だより」を発行し、父母教育後援会の取り組み報告に加え、保護者の関心が高いテーマについて発信するなど、内容の充実をはかった。

(2)ホームページの管理・運営

父母教育後援会からのお知らせ、行事の申込・実施報告などをホームページ上で行った。また、新入生向けに下宿選びのアドバイスなどを発信した。

(3)「学生生活ガイド」「健康ハンドブック」の配付

学生生活へのアドバイス等に役立ててもらう目的で、「学生生活ガイド(学生オフィス発行、新入生に配布)」の抜粋・縮小版を全会員に、「健康ハンドブック(保健センター発行、新入生のみ配布)」を新会員に配布した。

4. 特別事業

(1)入学・卒業記念品作成

入学記念品として「キャンパスカレンダー」を新入生および全会員に、卒業記念品として慶弔両用に使える正絹製「袱紗」を卒業生に贈呈した。

(2)キャンパス開設および記念事業への寄付

大阪いばらきキャンパス開設にあたり、キャンパス内の「空のプラザ」に対して寄付を行った。※2011年度総会承認事項

びわこ・くさつキャンパス開設 20周年にあたり、キャンパス内の「スポーツ健康 commons」に対して寄付を行った。※2014年度総会承認事項

(3)災害見舞金・弔慰金の献呈

「立命館大学父母教育後援会 会員災害見舞金規程」および「立命館大学父母教育後援会 会員弔慰金規程」にもとづき、受給資格を有し、条件を満たした場合に献呈した。

(4)災害時基金積立金

東日本大震災後、防災意識の高まりとともに、災害発生時の支援策およびその財源確保について全国の都道府県委員や会員からの要望を受け、保護者組織として大災害を想定した対策構築のため、2013年度基金残高に加え、3,500万円を積み立てた。※2013年度総会承認事項

(5)古本募金

被災地の復興支援につなげるため、父母教育後援会として2014年9月から古本募金に取り組み、2015年度末段階で735名の会員から66,213冊の寄付をいただき、1,042,854円の募金額となった。

5. 卒業生父母の会

2015年度総会において「卒業生父母の会」の設立が承認され、2014年度卒業の父母を中心に案内を送付し、正会員156名、准会員120名の加入を得た。

全会員に「父母教育後援会だより」を送付するとともに、正会員に対しては学園祭とアカデミック講演会への招待や正会員を対象としたアカデミックウォッチングを全4コース催行し、78名が参加した。

以上

2015年度立命館大学父母教育後援会収支計算書

(単位:円)

科目	2015予算案①	2015執行額②	差異(①-②)	執行率	主な内容
【経常収入の部】					
会費収入	[357,580,000]	[354,307,500]	[3,272,500]	99.1	
在校生正会員会費収入	(357,580,000)	(352,387,500)	(5,192,500)	98.5	20140501在学生数から兄弟姉妹、退会等勘案
入会金収入	37,500,000	37,000,000	500,000	98.7	2015年度入会金5千円×7400名
年会費収入	320,000,000	315,510,000	4,490,000	98.6	2015年度年会費1万円×31,551名
退会者会費収入		37,500	△ 37,500		
過年度会費収入	80,000	△ 160,000	240,000		2014以前の未処理会費を2015に精算
卒業生父母の会費収入	(0)	(1,920,000)	(△ 1,920,000)		2015新設
正会員会費収入		1,560,000	△ 1,560,000		10,000円×156名
准会員会費収入		360,000	△ 360,000		3,000円×120名
資産運用収入	[30,000]	[22,287]	[7,713]	74.3	
預金利息収入	30,000	22,287	7,713	74.3	
雑収入	[0]	[13,300]	[△ 13,300]		
雑収入	0	13,300	△ 13,300		キャンパスカレンダー配布対象外への提供(@100)
A 経常収入合計	357,610,000	354,343,087	3,266,913	99.1	
【経常支出の部】					
事業費支出	[327,670,000]	[360,679,193]	[△ 33,009,193]	110.1	
懇談会事業費支出	(49,570,000)	(46,669,319)	(2,900,681)	94.1	
春OC・関西地区父母懇談会支出	(4,550,000)	(5,065,503)	(△ 515,503)	111.3	
業務委託費支出	2,500,000	3,174,235	△ 674,235	127.0	当日運営費(3キャンパス)
通信運搬費支出	250,000	263,468	△ 13,468	105.4	当日資料を3キャンパスへ運搬
印刷費支出	250,000	346,744	△ 96,744	138.7	「懇談会事業のご案内」は広報予算に含む
謝礼金支出	600,000	722,914	△ 122,914	120.5	
旅費交通費支出	250,000	221,642	28,358	88.7	登壇学生・卒業生増、外部講師は減
雑費支出	700,000	336,500	363,500	48.1	3キャンパス分保険料、要員昼食代等
都道府県父母懇談会支出	(38,520,000)	(34,323,502)	(4,196,498)	89.1	
会場費支出	19,800,000	16,366,920	3,433,080	82.7	実績に応じて減額
業務委託費支出	2,200,000	2,163,751	36,249	98.4	申込受付システム見直し減額
通信運搬費支出	300,000	200,548	99,452	66.8	
印刷費支出	600,000	480,751	119,249	80.1	実績に応じて減額
謝礼金支出	500,000	605,932	△ 105,932	121.2	卒業生の登壇が増えたことによる謝礼増
旅費交通費支出	15,000,000	14,415,942	584,058	96.1	
雑費支出	120,000	89,658	30,342	74.7	
秋OC・学園祭招待事業支出	(800,000)	(470,971)	(329,029)	58.9	
業務委託費支出	80,000	203,580	△ 123,580	254.5	案内看板設置・撤去、招待券引換物セット等
通信運搬費支出	180,000	68,211	111,789	37.9	引換セット発送・キャンパス間輸送
印刷費支出	500,000	197,500	302,500	39.5	招待券、チケット、アンケート用紙ほか
雑費支出	40,000	1,680	38,320	4.2	保険料等
アカデミック講演会事業支出	(1,100,000)	(1,034,374)	(65,626)	94.0	
印刷費支出	77,000	0	77,000	0.0	チラシ等印刷費
謝礼金支出	23,000	22,274	726	96.8	講師謝礼
雑費支出	1,000,000	1,012,100	△ 12,100	101.2	校友会アカデミック企画共催分担金(実費1/2を上限)
アカデミック京都ウォッチング	(100,000)	(1,181,298)	(△ 1,081,298)	1,181.3	企画精緻化に伴う委託費、案内印刷費等
共通費支出	(4,500,000)	(4,593,671)	(△ 93,671)	102.1	各事業共通の印刷物、ホールパン、手揚げ等
学生教育支援事業支出	(214,250,000)	(258,437,053)	(△ 44,187,053)	120.6	
学生教育支援費	(188,500,000)	(234,731,504)	(△ 46,231,504)	124.5	
新入生教育支援支出	4,000,000	3,442,425	557,575	86.1	大学宛寄付事業
成績表送付費支援支出	2,500,000	2,500,000	0	100.0	教育学部
父母教育後援会表彰制度支出	18,000,000	17,500,000	500,000	97.2	教育学部(予算は校友・父母課)
課外活動支援支出	13,000,000	12,662,366	337,634	97.4	学生部
就職活動支援支出	58,000,000	57,749,913	250,087	99.6	キャリアセンター
資格試験等図書費支援支出	5,000,000	5,000,000	0	100.0	図書館
留学生支援支出	3,000,000	1,495,000	1,505,000	49.8	国際部
会員家計急変奨学金支出	80,000,000	129,381,800	△ 49,381,800	161.7	学生部(予算は校友・父母課)
留学生奨学金支出	5,000,000	5,000,000	0	100.0	国際部(予算は校友・父母課)
その他学生支援費	(24,900,000)	(22,840,345)	(2,059,655)	91.7	
100円朝食補助費支出	21,600,000	21,868,245	△ 268,245	101.2	新規事業計画費から移動
100円朝食事業費支出	1,800,000	0	1,800,000	0.0	定価との差額補助費¥135×16万食(2014実績12万食)
学園祭支援事業費支出	1,500,000	972,100	527,900	64.8	*レジェコンテストほか、関連事業費
学生教育支援事業事務費	850,000	865,204	(△ 15,204)	101.8	*模擬店チケット換金、模擬店コンテスト賞品等
表彰制度賞状、履歴書配布等に伴う諸経費					
会報・学園案内広報事業支出	(25,800,000)	(30,576,642)	(△ 4,776,642)	118.5	
会報・ホームページ	(24,200,000)	(29,567,652)	(△ 5,367,652)	122.2	
会報発行費支出	20,000,000	24,826,420	△ 4,826,420	124.1	
ホームページ運営費支出	4,000,000	4,705,792	△ 705,792	117.6	
謝礼金支出	100,000	13,000	87,000	13.0	取材協力謝礼
雑費支出	100,000	22,440	77,560	22.4	
学園案内	(1,600,000)	(1,008,990)	(591,010)	63.1	
学生生活ガイド印刷費支出	1,100,000	552,150	547,850	50.2	新規事業計画費から移動
健康ハンドブック印刷費支出	500,000	456,840	43,160	91.4	*2013年度実績1,051,281円
その他事業費支出	(28,050,000)	(21,301,072)	(6,748,928)	75.9	
入学記念品作成費支出	850,000	777,600	72,400	91.5	新入生用8,500部
会員・特別会員記念品作成費支出	3,600,000	3,191,800	408,200	88.7	父母32,000部、教職員4,000部(実費頒布用含む)
卒業記念品作成費支出	21,600,000	15,231,672	6,368,328	70.5	3,000円×7,200名分
災害見舞金支出	0	100,000	△ 100,000		規程により予備費の範囲で執行する
弔慰金支出	2,000,000	2,000,000	0	100.0	
新規事業計画費	(10,000,000)	(3,176,681)	(6,823,319)	31.8	500万を2015その他学生支援費と学園案内印刷費へ移動*
卒業生父母の会事業支出	[0]	[518,426]	[△ 518,426]		
学生支援事業費補助支出	0	0	0		
会報発行費支出		125,528	△ 125,528		会費収入から会報発行経費以下の支出額を除いた金額を、学生支援事業補助に充てる
アカデミック京都ウォッチング実施経費		320,294	△ 320,294		
雑費支出		72,604	△ 72,604		
管理費支出	[134,860,000]	[134,252,855]	[607,145]	99.5	
会議費支出	(9,000,000)	(10,055,850)	(△ 1,055,850)	111.7	
総会・春の委員懇談会	4,300,000	4,905,552	△ 605,552	114.1	
秋の委員懇談会	3,600,000	3,958,566	△ 358,566	110.0	
常任委員会	1,000,000	1,094,912	△ 94,912	109.5	
その他の会議	100,000	96,820	3,180	96.8	三役会議、卒父母検討委員会、100円朝食打合せ
事務費支出	(2,860,000)	(3,063,579)	(△ 203,579)	107.1	2014執行にはイベント申込システム初期費用含む
人件費支出	(18,000,000)	(16,133,426)	(1,866,574)	89.6	過去の実績にあわせる
その他資金支出	(105,000,000)	(105,000,000)	0	100.0	
立命館大学父母教育後援会基金積立金支出	35,000,000	35,000,000	0	100.0	2013～目標額(5億円)に達するまで、3500万円/年を積立
BKC20周年記念事業費	50,000,000	50,000,000	0	100.0	2014予算凍結、2015に繰越して執行
キャンパス整備支援事業費	20,000,000	20,000,000	0	100.0	大学宛寄付、2015で終了
B 経常支出合計	462,530,000	494,932,048	△ 32,402,048	107.0	
C=A-B 経常費収支差額	△ 104,920,000	△ 140,588,961	35,668,961		
D 予備費	[73,852,618]	[0]	[73,852,618]	0.0	
E=C-D 当期収支差額	△ 178,772,618	△ 140,588,961	△ 38,183,657		
F 前期繰越収支差額	178,772,618	178,772,618	0	100.0	
G=E+F 次期繰越収支差額	0	38,183,657	△ 38,183,657		

貸借対照表

2016年3月31日現在

立命館大学父母教育後援会

(単位：円)

科 目	金 額		
資産の部			
1. 流動資産			
現金	0		
預金	239,404,905		
立命館大学 預け金		92,112,832	
京都中央信用金庫 普通預金		14,403,745	
みずほ銀行 普通預金		131,262,716	
郵便振替口座		1,625,612	
基金積立預金	296,495,458		
京都中央信用金庫 普通預金		296,495,458	
流動財産合計		535,900,363	
2. 固定資産			
投資有価証券	0		
学園債		0	
固定資産合計		0	
資産合計			535,900,363
負債の部			
流動負債	201,221,248		
未払金		80,463,248	
前受け金			
在校生次年度会費		119,105,000	
卒業生父母会会費		1,653,000	
会費預り金		0	
負債合計			201,221,248
正味財産の部			
正味財産			
立命館大学父母教育後援会基金積立預金		296,495,458	
運用財産		38,183,657	
正味財産合計			334,679,115
(うち当期正味財産増加額)			(△ 105,542,823)
負債および正味財産合計			535,900,363

正味財産増減計算書

【父母教育後援会基金積立金収入】	35,046,138
【受取会費計】	354,307,500
【雑収益計】	35,587
【経常収益計】	389,389,225
【事業費合計】	360,679,193
【人件費計】	16,133,426
【その他管理費計】	118,119,429
【管理費合計】	134,252,855
【経常費用計】	494,932,048
【当期経常増減額】	△ 105,542,823
【当期一般正味財産増減額】	△ 105,542,823
【一般正味財産期首残高】	440,221,938
【一般正味財産期末残高】	334,679,115

資産の部	
【現預金】	
現金	0
普通預金 中信	14,403,745
普通預金 みずほ	131,262,716
普通預金 ゆうちよ	1,625,612
基金積立金	296,495,458
計	443,787,531
【大学預け金】	92,112,832
合計①	535,900,363
負債の部	
2015未払い金	80,463,248
2016前受け金	120,758,000
内訳 在校生会費前受け金	119,105,000
卒業生父母会費前受け金	1,653,000
合計②	201,221,248
①-②正味財産	334,679,115
正味財産-基金積立金	38,183,657

監 査 報 告 書

2015年度立命館大学父母教育後援会事業報告、収支計算書ならびに関係証憑を監査し、会務及び会計はいずれも適正であることを認める。

2016年 5月 9日

立命館大学父母教育後援会

監事 樽谷 珠代 

監事 中川 淳 

会計監査結果報告書

平成28年5月8日

立命館大学父母教育後援会
会長 大垣 守弘 殿

マネックス合同会計
税理士 富村 将之



当職は、立命館大学父母教育後援会（以下、「後援会」という。）から立命館大学父母教育後援会会則施行細則9条の規定に基づく依頼を受け、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度計算書類、すなわち、収支計算書及び貸借対照表の各勘定残高に関連した項目につき立命館大学二条キャンパスにおいて会計監査を実施した。

監査した範囲

平成27年度計算書類、すなわち、収支計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の各勘定残高を対象とした会計帳簿、請求書及び領収書等の証憑につき以下の内容。

1. 平成28年3月31日現在の計算書類と総勘定元帳の勘定の残高を突合した。
2. 平成28年3月31日現在のすべての預金残高と残高確認書の残高を突合した。
3. 平成27年4月1日から平成28年3月31日までの会費収入について、証憑と突合し、入金的事実を確認した。
4. 平成27年4月1日から平成28年3月31日までの支出項目のうち、200,000円以上の取引について、証憑と突合した。
5. 平成27年度収支計算書項目について平成27年度予算と大きく乖離している項目について、担当者に質問を実施し乖離している理由を確認した。

監査実施結果

上記手続を実施した結果は、以下のとおりである。

- (1) 上記1の事項については、計算書類と総勘定元帳の残高は、一致した。
- (2) 上記2の事項については、すべての預金の帳簿残高と残高確認書の金額は、一致した。
- (3) 上記3の事項については、会費収入について、基礎となる証憑と金額及び計上時期が一致し、かつ、入金的事実と一致した。
- (4) 上記4の事項については、担当者に質問を実施し、内容の確認を行った。
- (5) 上記5の事項については、予算と比較して大きく乖離している項目について、担当者に質問を実施し、乖離理由の回答を得て確認した。

(6) 記帳が単式簿記となっているため、今後の正確性を期すため複式簿記での記帳を指示した。

監査における特筆事項

上記手続は、財務諸表に対する一般に公正妥当と認められる会計基準に準拠しておこなったものである。

なお、この報告書は立命館大学父母教育後援会会則施行細則9条の規定に基づく依頼により作成されたものであり、他のいかなる目的にも使用してはならず、後援会会員以外への配付もしてはならない。

上記手続により平成27年度財務諸表すなわち収支計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書はいずれも適正に作成されており、公正妥当と認めるものである。

以 上

3. 2016 年度事業計画および予算案について

以下 4 点を基本的な考え方として、各事業を実施する。

- ① 懇談会事業は、学生の学びや生活の様子を会員に伝えることを主な目的として実施する。
- ② 学生支援事業は、学生が平等かつ公平に支援が受けられる事業に支援する。
- ③ 広報・通信事業は、大学の取組みや学生生活の様子を会報誌やホームページで発信する。
- ④ その他事業は、基本的に前年度事業を踏襲し、必要に応じて取組みを行っていく。

1. 懇談会事業

以下の通り、懇談会を実施する。

懇談会名称	概要
総会・委員懇談会 〔対象：都道府県委員〕	総会では、2016 年度役員選出、2015 年度事業・決算報告、2016 年度事業計画・予算案を確定する。 委員懇談会では、2016 年度事業に関わる意見交換や都道府県委員同士の交流を目的に、グループ別懇談会を実施する。 *2016 年 5 月 14 日(土) 衣笠キャンパスで開催
春のオープンカレッジ 〔対象：全会員〕	衣笠、びわこ・くさつ、大阪いばらきの各キャンパスで、午前は学生生活、就職、海外留学、資格講座、教職、大学院進学についての説明会を実施し、午後は学部別懇談会を実施する。また、学生スタッフによるキャンパスツアーも実施する。 *2016 年 6 月 11 日(土) 衣笠、びわこ・くさつ、大阪いばらきキャンパスで開催
都道府県父母教育懇談会 〔対象：全会員〕	全国 42 会場へ大学教職員が赴き、大学での学びについて学生の体験談も交えながら説明会を実施し、またグループ別懇談会も行い、具体的な疑問点などを解決するとともに参加者同士が交流できる場を設ける。 *2016 年 5 月 28 日(土)～7 月 10 日(日) 期間中の土・日曜日に開催
委員懇談会 〔対象：都道府県委員〕	2016 年度事業進捗の報告と、新年度事業に向けた意見交換を行う。 *2016 年 11 月 12 日(土)
秋のオープンカレッジ 〔対象：全会員〕	学生生活の様子が感じられる学園祭に会員を招待する。 *10 月下旬～11 月中旬に開催予定
アカデミック講演会 〔対象：全会員〕	立命館大学のアカデミックな内容に触れていただく機会として、教員などによる講演会を開催する。 *2016 年 6 月 5 日(日) 山口県(都道府県父母教育後援会 会場) テーマ：運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくる アクティブ・フォー・オール拠点(文部科学省 COI ストリーム)の取組み 講師：スポーツ健康科学部長 伊坂 忠夫 教授 *2016 年 7 月 3 日(日) 岐阜県(都道府県父母教育後援会 会場) テーマ：心とはなにか？ 講師：総合心理学部長 佐藤 隆夫 教授 *2016 年 10 月 29 日(土) 石川県(オール立命館校友大会 2016 in 金沢と共催)
アカデミックウォッチング 〔対象：全会員〕	教員や学生による解説・引率京都などの名所を巡る企画を複数コース開催する。 *2016 年 12 月 11 日(日)

2. 学生教育支援事業

学生教育支援事業は、学生が平等かつ公平に支援が受けられる内容に支援する。

(1) 正課等教育支援

支援事業	実施内容
新入生教育支援事業	初年次の小集団科目において、グループ学習などクラス単位での活動が活性化することを目指し、フィールドワークにかかわる経費や、講師招聘に対する補助をおこなう。
在学学生教育支援事業	学生に国内外の学術・文化・芸術の資産に触れもらうため、国立美術館、国立博物館(下記 8 施設)に学生が無料で入館できるキャンパスメンバーズへの加盟費に対して支援する。 東京国立近代美術館、京都国立近代美術館、国立西洋美術館(東京都) 国立国際美術館(大阪市)、国立新美術館(東京都)、京都国立博物館 奈良国立博物館、国立民族学博物館(吹田市)
	年に2回保証人宛に送付している成績通知表の送付経費の一部を補助する。
表彰制度支援事業	主として正課にかかわる分野において、優れた成果をおさめた学生の取組みを表彰する。

(2) 課外活動支援

支援事業	実施内容
文化・スポーツ活動応援事業	スポーツ・文化芸術活動を活性化するために、学生が互いに応援し、励ましあう応援文化を醸成するよう、応援グッズ作成や学園祭企画への補助を行う。

(3) 進路就職支援

支援事業	実施内容
就職活動支援事業	U・Iターン就職支援を目的としたキャリアフォーラムの開催、ガイドブックの制作、SPI等模擬試験や試験対策講座への受験料補助、模擬面接などの面接対策への支援、本学オリジナル履歴書の制作とその無償配布(就職活動生対象)、スチューデント・ネットワークによる支援企画の実施、「親子で考えるキャリア講座」を刊行する。
資格試験等図書支援事業	進路・就職関係および資格取得支援資料(企業や業界研究、就職活動の変化に対応するための最新資料、学生のニーズに応じた資格取得のためのテキストや問題集など)の購入、また読む力を育成し、幅広い教養を身につける資料を購入する。

(4) 国際交流支援

支援事業	実施内容
留学生支援事業	保護者またはそれに準ずるものが父母教育後援会会員である外国人留学生の国民健康保険料に対して補助を行う。

(5) 奨学金支援

支援事業	実施内容
会員家計急変奨学金	学費負担者である会員が死亡・重度障害に陥った場合は卒業までの学費を、また、本人の責によらない失業・倒産により予期せぬ収入の減少に陥った場合は年間学費を支給し、修学の継続が困難となった学生への支援を行う。
災害支援奨学金	災害により学費負担者である会員が、①30日以上の治療を要する人的被害を受けた場合、②居住家屋の全壊、全焼、半壊、半焼、床上浸水の被害を受けた場合、年間学費を支給し、修学の継続が困難となった学生への支援を行う。

留学生支援奨学金	保護者またはそれに準ずるものが父母教育後援会会員である外国人留学生に学修の奨励を目的とした援助を行う。
----------	---

(6)その他

支援事業	実施内容
100円朝食	大学生協だけでなく、外部団体とも提携をし、通常価格との差額補助を行う。

3. 広報・通信事業

広報・通信事業は、会報誌面の内容の充実、ホームページコンテンツの充実をはかる。

(1) 父母教育後援会だより(会報誌)の発刊

「父母教育後援会だより」を発行し、父母教育後援会の取組み報告に加え、保護者の関心が高いテーマについて発信していく。

(2) ホームページの管理・運営

会報と連動するとともに、掲載コンテンツの充実をはかり、学生やキャンパスの様子が分かるよう速報性を持たせていく。

(3) 「学生生活ガイド」「健康ハンドブック」の配付

学生生活へのアドバイス等に役立ててもらう目的で、「学生生活ガイド（学生オフィス発行、新入生に配布）」および「健康ハンドブック（保健センター発行、新入生に配布）」を新会員に配布する。

4. 特別事業

(1)入学・卒業記念品作成

入学記念品として「キャンパスカレンダー」を新入生および全会員に、卒業記念品として「袱紗」を卒業生に贈呈する。

(2)学園創立 120 周年記念事業への支援

2020 年に学園創立 120 周年を迎えるため、周年事業に向け、2016 年度から 5 年間、毎年 500 万円を積み立てる。

(3)キャンパス整備支援への積立

キャンパス整備支援のため、毎年 2,000 万円を積み立てる。

(4)災害見舞金・弔慰金の献呈

「立命館大学父母教育後援会 会員災害見舞金規程」および「立命館大学父母教育後援会 会員弔慰金規程」にもとづき、受給資格を有し、条件を満たした場合に献呈する。

(5)災害時基金積立金の見直し

大規模災害への備えとして 5 億円を目標に積み立てている「災害時基金積立金」(2013 年度総会承認)について、災害による被災学生への新たな修学支援策として 2015 年度新たに設立した災害支援奨学金制度の予算として活用する。災害支援奨学金の設立にあたり大学と役割分担を行った結果、当初目標としていた 5 億円の備えは必要としなくなった(※)ため、災害支援奨学金予算は 1 億円とし、残りの積立金残高(1 億 9,650 万円)は基金取崩収入として 2016 年度予算に計上し、今後の父母教育後援会の活動予算として活用する。

※ 立命館大学では阪神大震災や東日本大震災などの大規模災害で被災した学生への支援制度として、「非常災害による修学困難者に対する学費減免制度」を設けている。災害支援奨学金は大学の制度を補完する制度と位置づけたため、大学の支援が及ばない局所的な災害に対しても支援を行う一方、大規模災害に対しては大学が支援を行うため対象とする必要がなくなった。1995 年以降の 20 年間で大学の支援対象とならなかった被災学生は延べ 65 名であるが、このすべてに災害支援奨学金を支給した場合に必要な給付額は 6,000 万円で、1 億円を予算化すれば十分対応が可能となった。

(6)古本募金

会員に古本の寄付を呼びかけ、被災地の復興支援につなげる。

5. 卒業生父母の会

全会員に「父母教育後援会だより」を送付し、正会員に対しては学園祭とアカデミック講演会への招待、アカデミックウォッチングを複数日・複数コース開催する。

2016年度立命館大学父母教育後援会予算(案)

科目	2016予算案	2015予算	差異(1)-(2)	主な内容
【経常収入の部】				
会費収入	[364,194,000]	[357,580,000]	[6,614,000]	
正会員会費収入	(362,375,000)	(357,580,000)	(4,795,000)	
入会金収入	39,705,000	37,500,000	2,205,000	入会金5千円×7941名(2016年4月1日新入生者数に基づく)
年会費収入	322,590,000	320,000,000	2,590,000	年会費1万円×32,259名(2016年4月1日入会者数に基づく)
強制退会者会費収入			0	
過年度会費収入	80,000	80,000	0	過年度のみ処理会費を精算
卒業生父母の会費収入	(1,819,000)	(0)	(1,819,000)	
正会員会費収入	1,360,000	1,360,000		会費10,000円×136名(2016年度申込者数)
准会員会費収入	459,000	459,000		会費3,000円×153名(2016年度申込者数)
基金取崩収入	[296,449,320]	[0]	[296,449,320]	災害支援奨学金の設立と必要予算の整理により、災害時基金(2015年度までの積立額296,449,320円)を取崩し予算化
基金取崩収入	296,449,320	0	296,449,320	
資産運用収入	[30,000]	[30,000]	[0]	
預金利息収入	30,000	30,000	0	預金利息
雑収入	[0]	[0]	[0]	
雑収入	0	0	0	キャンパスレング - 配布対象外への提供 (@100)
A 経常収入合計	660,673,320	357,610,000	303,063,320	
【経常支出の部】				
事業費支出	[498,033,000]	[325,870,000]	[172,163,000]	
懇談会事業費支出	(53,523,000)	(49,570,000)	(3,953,000)	
春OC・関西地区父母懇談会支出	(5,250,000)	(4,550,000)	(700,000)	
業務委託費支出	3,200,000	2,500,000	700,000	3キャンパスの当日運営費
通信運搬費支出	300,000	250,000	50,000	3キャンパスへの資料運搬費
印刷費支出	350,000	250,000	100,000	配布資料の印刷
謝礼金支出	750,000	600,000	150,000	登壇する学生・卒業生が対象
旅費交通費支出	250,000	250,000	0	登壇する学生・卒業生が対象
雑費支出	400,000	700,000	△ 300,000	3キャンパス分保険料、要員昼食代等
都道府県父母懇談会支出	(40,750,000)	(38,520,000)	(2,230,000)	
会場費支出	20,600,000	19,800,000	800,000	各会場でのDVD放映、懇親会会場費分を増
業務委託費支出	2,200,000	2,200,000	0	
通信運搬費支出	500,000	300,000	200,000	備品、お菓子運搬費
印刷費支出	500,000	600,000	△ 100,000	
謝礼金支出	700,000	500,000	200,000	登壇する学生・卒業生が対象
旅費交通費支出	15,000,000	15,000,000	0	
雑費支出	1,250,000	120,000	1,130,000	お菓子代金分増
秋OC・学園祭招待事業支出	(670,000)	(800,000)	(△ 130,000)	
業務委託費支出	250,000	80,000	170,000	案内看板設置・撤去、招待券引換物セット等(3キャンパス)
通信運搬費支出	100,000	180,000	△ 80,000	引換セット発送・キャンパス間輸送
印刷費支出	300,000	500,000	△ 200,000	招待券、チケット、アンケート用紙ほか
雑費支出	20,000	40,000	△ 20,000	保険料等
アカデミック講演会事業支出	(1,053,000)	(1,100,000)	(△ 47,000)	
印刷費支出	30,000	77,000	△ 47,000	チラシ等印刷費
謝礼金支出	23,000	23,000	0	講師謝礼
雑費支出	1,000,000	1,000,000	0	校友会アカデミック企画共催分担金(実費1/2を上限)
アカデミック京都ウォッチング	(1,200,000)	(100,000)	(1,100,000)	業務委託費、案内印刷費等
共通費支出	(4,600,000)	(4,500,000)	(100,000)	各事業共通の印刷物、ボールペン、手提げ等
学生教育支援事業支出	(348,100,000)	(212,450,000)	(135,650,000)	
学生教育支援費	(319,000,000)	(188,500,000)	(130,500,000)	
新入生教育支援支出	4,100,000	4,000,000	100,000	大学宛寄付事業
成績表送付費支援支出	2,400,000	2,500,000	△ 100,000	教育学部
父母教育後援会表彰制度支出	18,000,000	18,000,000	0	教育学部(予算は校友・父母課)
課外活動支援支出	13,000,000	13,000,000	0	学生部 * 学園祭学生企画への補助も含む
就職活動支援支出	58,000,000	58,000,000	0	キャリアセンター
資格試験等図書費支援支出	5,000,000	5,000,000	0	図書館
留学生支援支出	3,000,000	3,000,000	0	国際部
会員家計急変奨学金支出	110,500,000	80,000,000	30,500,000	学生部(予算は校友・父母課)、週及適用者(3050万円)も含む
災害支援奨学金支出	100,000,000	0	100,000,000	2015後期から新設
留学生奨学金支出	5,000,000	5,000,000	0	国際部(予算は校友・父母課)
その他学生支援費	(28,200,000)	(23,100,000)	(5,100,000)	
100円朝定食補助費支出	27,000,000	21,600,000	5,400,000	定価との差額補助費¥135×20万食。クラス合宿時1回生招待含む
学園祭支援事業費支出	1,200,000	1,500,000	△ 300,000	模擬店チケット換金
学生教育支援事業事務費	(900,000)	(850,000)	(50,000)	表彰制度賞状、履歴書配布等に伴う諸経費
会報・学園案内広報事業支出	(32,100,000)	(25,800,000)	(6,300,000)	
会報・ホームページ	(29,100,000)	(24,200,000)	(4,900,000)	
会報発行費支出	27,000,000	20,000,000	7,000,000	会報、冊子2種(しおり、行事案内)制作費、発送費、取材協力費
ホームページ運営費支出	2,000,000	4,000,000	△ 2,000,000	ホームページ年間運営費
謝礼金支出	50,000	100,000	△ 50,000	取材協力謝礼
雑費支出	50,000	100,000	△ 50,000	
学園案内	(3,000,000)	(1,600,000)	(1,400,000)	
印刷費支出	2,000,000	0	2,000,000	学生生活ガイド、健康ハンドブック、合格者へのお知らせパンフ
映像制作費	1,000,000	0	1,000,000	大学紹介ビデオ
その他事業費支出	(53,660,000)	(28,050,000)	(25,610,000)	
入学記念品作成費支出	800,000	850,000	△ 50,000	新入生用9,000部
会員・特別会員記念品作成費支出	3,360,000	3,600,000	△ 240,000	父母33,000部、教職員4,000部(実費頒布用含む)
卒業記念品作成費支出	22,500,000	21,600,000	900,000	3,000円×7,500名分
災害見舞金支出	0	0	0	
弔慰金支出	2,000,000	2,000,000	0	
キャンパス整備支援事業費	20,000,000	0	20,000,000	キャンパス整備支援として毎年度2,000万円を積立て
学園120周年記念事業	5,000,000	0	5,000,000	立命館創始150年(2020年)に向け、毎年度500万円を積立て
新規事業計画費	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)	
卒業生父母の会事業支出	[650,000]	[0]	[650,000]	
学生支援事業費補助支出	0	0	0	
会報発行費支出	300,000		300,000	会費収入から「会報発行費用」「アカデミックウォッチング実施経費」の支出額を除いた金額を「学生支援事業費補助」に充てる
アカデミック京都ウォッチング実施経費	300,000		300,000	
雑費支出	50,000		50,000	
管理費支出	[29,120,000]	[29,860,000]	[△ 740,000]	
会議費支出	8,800,000	9,000,000	△ 200,000	
総会・春の委員懇談会	4,200,000	4,300,000	△ 100,000	
秋の委員懇談会	4,000,000	3,600,000	400,000	
常任委員会	500,000	1,000,000	△ 500,000	
その他の会議	100,000	100,000	0	三役会議等
事務費支出	2,320,000	2,860,000	△ 540,000	封筒等
人件費支出	18,000,000	18,000,000	0	過去の実績に基づく
B 経常支出合計	527,153,000	355,730,000	171,423,000	
C=A-B 経常費収支差額	133,520,320	1,880,000	131,640,320	
D 予備費	[171,703,977]	[73,852,618]	[97,851,359]	
E=C-D 当期収支差額	△ 38,183,657	△ 71,972,618	33,788,961	
F 前期繰越収支差額	38,183,657	178,772,618	140,588,961	
G=E+F 次期繰越収支差額	0	106,800,000	△ 106,800,000	

立命館大学父母教育後援会会則

■名称および所在

第1条 本会は、立命館大学父母教育後援会と称し、本部を立命館大学内に置く。

■目的

第2条 本会は、立命館大学（以下「大学」という）の教育方針に則り、大学と大学学部在籍する学生の父母又はこれに準ずる者（以下「学生の父母」という）との連絡を密にし、教育事業を援助し、併せて会員相互の親睦を図ることを目的とする。

■会員の資格

第3条 本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 正会員 学部学生の父母
- (2) 特別会員 大学に勤務する教職員
- (3) 賛助会員 本会の趣旨に賛同し、これに援助を与える者

■事業

第4条 本会は、その目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 父母教育懇談会の開催
- (2) 就職説明懇談会の開催
- (3) 機関紙の刊行
- (4) 学生の教育、厚生等に必要とする事業に対する援助
- (5) 大学の教育、研究に対する援助
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

■総会

第5条 本会に、総会を置く。総会は、定期総会と臨時総会とする。

- 2 定期総会は、毎年1回開催し、臨時総会は、常任委員会の議を経て随時開催する。
- 3 総会は会長、副会長、監事、常任委員、委員及び幹事長をもって構成し、会長が議長となる。
- 4 総会の議事は、出席者の過半数をもって決定する。
- 5 総会は、次の事項を決定する。

- (1) 会長、副会長、監事、常任委員及び委員の選出
- (2) 会則の改正
- (3) 事業計画及び予算、決算
- (4) その他重要事項

■役員

第6条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3～5名
- (3) 監事 2名
- (4) 常任委員 若干名
- (5) 委員 会員の在籍する各都道府県あたり1名以上
- (6) 幹事長 1名
- (7) 幹事 若干名
- (8) 相談役 若干名
- (9) 顧問 若干名

■名誉会長

第7条 本会に、名誉会長を置く。

- 2 名誉会長は大学長をもってあてる。
- 3 名誉会長は、常任委員会に出席して意見を述べることができる。

■役員を選出

第8条 役員は、次の方法によって選出する。

- (1) 会長、副会長、監事及び委員は、総会において正会員の中から選出する。
- (2) 前号の規程にかかわらず、副会長のうち2名は副学長及び専務理事をもってあてる。
- (3) 常任委員は、総会において委員の中から選出する。
- (4) 会長は、役員を選出にあたり、幹事長等と協議して候補者を推薦することができる。
- (5) 幹事長及び幹事は、特別会員の中から会長が委嘱する。
- (6) 相談役は、本会のために特に功労のあった者につき、常任委員会の議を経て会長が委嘱する。
- (7) 顧問は、大学関係者の中から、常任委員会の議を経て会長が委嘱する。

■役員職務権限

第9条 会長は、会務を統括し、本会を代表する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

- 3 監事は、本会の会務および会計を監査する。

- 4 委員は各県での懇談会等を通じて会員の意見をまとめ総会に報告することができる。

- 5 幹事長は、会務を執行し、幹事は、これを補佐する。

- 6 相談役は、会長の諮問に応じ、常任委員会に出席して意見を述べることができる。

- 7 顧問は、常任委員会の諮問に応じ、常任委員会に出席して意見を述べることができる。

■役員任期

第10条 役員任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

■委員会

第11条 (削除)

■常任委員会

第12条 本会に、常任委員会を置く。

- 2 常任委員会は、会長、副会長、監事、常任委員及び幹事長をもって構成し、会長が議長となる。

- 3 常任委員会は、原則として年2回以上開催し、その議事は、出席者の過半数をもって決定する。

- 4 常任委員会は、次の事項を審議し、本会の運営を担当する。

- (1) 事業計画案及び、予算並びに決算書の作成
- (2) 事業計画の実施
- (3) 施行細則、規程等の制定及び改正
- (4) 相談役及び顧問の推薦
- (5) その他の会務の執行に関する事項

■事務局

第13条 本会に、本部事務局を置き、社会連携部長もしくは次長がこれを統括する。

- 2 事務局は校友・父母課長がこれを担う。

第14条 本会に、支部を置くことができる。支部に関する事項は、別に定める。

■会計年度

第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

■運営資金

第16条 本会の運営は、入会金、会費、寄附金及びその他の収入による。

- 2 入会金及び会費の額、並びにその納入方法は、次のとおりとする。

- (1) 正会員の入会金は、5,000円とする。
- (2) 正会員の会費は、年額10,000円とする。
- (3) 賛助会員は、年額1口30,000円以上とし、本会に納入する。
- (4) 正会員の入会金及び会費は、毎学年度の始めに納入しなければならない。
- (5) 会費等の徴収は、大学に委託して行う。

■卒業生父母の会

第17条 本会のもとに立命館大学父母教育後援会卒業生父母の会（以下「卒業生父母の会」という。）を置く。

- 2 卒業生父母の会の会則は別に定める。

■会則の改正

第18条 この会則は、常任委員会の議を経て総会の決議により改正することができる。

■細則等の制定

第19条 この会則の施行に伴う細則、その他の規程は、常任委員会において定める。

附則 この規程は、1992年5月24日から施行する。

附則 (2003年5月24日 総会規程の変更に伴う改正)

この規程は、2003年5月24日から施行する。

附則 (2006年5月20日 事務局規程の変更に伴う改正)

この規程は、2006年5月20日から施行する。

附則 (2009年5月16日 機構改編による部課名の変更に伴う改正)

この規程は、2009年5月16日から施行する。

附則 (2013年5月18日 卒業生父母の会会員追加に伴う改正)

この規程は、2013年5月18日から施行する。

附則 (2014年5月17日 役員選出方法の追加に伴う改正)

この規程は、2014年5月17日から施行する。

附則 (2015年5月16日 卒業生父母の会設置に伴う改正)

この規程は、2015年5月16日から施行する。

立命館大学父母教育後援会卒業生父母の会会則

■趣旨

第1条 この会則は、立命館大学父母教育後援会会則第17条に定める立命館大学父母教育後援会卒業生父母の会(以下「本会」という。)に関する事項について定める。

■目的

第2条 本会は、立命館大学父母教育後援会(以下「父母教育後援会」という。)のもとに置く会として、父母教育後援会の事業方針に則り、父母教育後援会が行う学生支援事業を援助するとともに、卒業生父母の会員相互の親睦を図ることを目的とする。

■事業

第3条 本会は、その目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 父母教育後援会が行う学生支援事業の援助
- (2) 立命館大学に対する会員の関心を高め、会員相互の親睦を深めるための事業
- (3) その他本会の目的を達成するために必要な事業

■会員

第4条 会員は、正会員、准会員の2種類とする。

2 本会は、立命館大学学部卒業生または立命館大学大学院修了生の父母のうち、次の各号の会費を所定の方法で納めた者が会員になることができるものとする。

- (1) 正会員 年額 10,000 円
- (2) 准会員 年額 3,000 円

■会計年度

第5条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

■運営

第6条 本会の運営は父母教育後援会が行う。

2 この会則に定めのない事項は、父母教育後援会常任委員会において定める。

■会則の改正

第7条 この会則は、父母教育後援会常任委員会の議を経て、父母教育後援会総会の決議により改正することができる。

附則 この会則は、2015年5月16日から施行する。